

地方創生加速化交付金の進捗管理

No	① 交付対象事業の 名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 事業概要	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 実施効果	⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について		
					指標	目標値	単位	目標年月	実績値	実績の分析		今後の方針	今後の方針の理由	
1	地域、民間、行政と連携した都市型農業の魅力創出と生活困窮者の自立支援	地方創生加速化交付金	44,280,241	<p>【企画調整課】 平成29年3月から学校給食センター敷地内に、高床式砂栽培設備(ユニバーサル農園ハウス)を設置し、小松菜、チンゲンサイ、青ねぎなどの播種、収穫を実施している。 また、JAなどの協力のもと、本市の地場産野菜のブランド化に向けたロゴマーク等のデザイン作成や、それらを用いた販促物を作成し、田原農研クラブ等で利用いただくよう配布した。 また、併せてPR動画、パンフレットを作成した。</p>	指標①	地場産野菜の学校給食納入量	11,000	kg	H29.3	28,983	従来から、学校給食に地場産野菜を納入する取組みを推進しており、関係団体との協議の結果、目標値の2倍以上の納入量を達成することができた。	地方創生に相当効果があった	継続(改善)	給食センター敷地内のユニバーサル農園ハウスは、今後も継続的に学校給食への納入を行い、その野菜を使用した給食オリジナルメニューを小中学生に提供する。 また、ハウスを本市の生活困窮者自立支援制度に基づく体験型施設として位置付け、希望者がいれば積極的に案内を行い、農福連携につなげる。 地元農産物のブランド化については、デザインを使用した販促物を活用し、市内外問わずアピールを行う。
				<p>【給食センター】 防災講演会終了後、ガスコージェネレーションシステムの見学と併せ、学校給食センター敷地内に設置したユニバーサル農園ハウスでの収穫体験を実施した。また、今年4月から敷地内で栽培した野菜の納入を行っている。(6月19日時点で546kg納入) その他、新たな給食メニューの開発を行い、実際に学校給食で提供を行った。また、学校給食を納入している交野支援学校四條畷校の敷地内で、簡易型の砂栽培設備を設置し、播種、収穫体験を授業の一環で実施した。なお、その際に収穫された野菜については、給食として提供している。</p>	指標②	農業、食育関連イベント等への参加者数	6,000	人	H29.3	3,681	雨天のイベントがあり、大幅な参加者減となった。 一方で、今回の交付金を活用したイベントの開催や、既存の食育、農業関連のイベントでも地元農産物の地産地消を趣旨に加えたことによる参加は増加した傾向にある。			
				<p>【保健センター】 小学5、6年生を対象に、地場産野菜を使用した朝食メニューコンテストを実施した。 また、地域栄養士会とともに、地場産野菜を活用したレシピを考案し、レシピ集を発行した。 また、「すてっぶ★なわて」内にあるつどいの広場で、親子を対象に収穫体験を実施した。 【学校教育課】 教育センターの一角で、ユニバーサル農園ハウスで収穫された地場産野菜を使用した朝食の提供を行う「子ども食堂」をモデル実施した。</p>	指標③	本事業(地域、民間、行政と連携した都市型農業の魅力創出と生活困窮者の自立支援事業)を通じて増加した従業者数	2	人	H29.3	3	自立支援事業等を通じて増加した従業者数としては、砂栽培を実施している事業者において、3人の新たな雇用があった。 ただし、今回の加速化交付金で設置したユニバーサル農園ハウス単体では、播種、収穫期などの繁忙期を中心として作業を行うことから、常時の雇用につながる状態には至っていない。			